(別紙4-3 するめいか)

第1 対象となる特定水産資源

するめいか

第2 資源再建計画の期間

令和7管理年度から令和26管理年度まで

第3 暫定管理基準値

(1) 別紙2-12の第3の資源管理の目標に定めるとおり、暫定管理基準値は、限界管理基準値である次の①及び②に掲げる値とする。

① するめいか秋季発生系群 123千トン

② するめいか冬季発生系群 145千トン

(2) 別紙2-12の第4の漁獲シナリオに定めるとおり、暫定管理基準値達成年度は令和16年(2034年)とし、当該年に資源水準の値が暫定管理基準値を上回る確率は、50パーセントとする。

第4 資源再建計画において講ずる措置

別紙 2-12に基づく管理を通じ、資源の再建を図る。具体的には、別紙 2-12の第 4 の 4 に従って漁獲可能量を定めることとする。

第 5 資源再建計画の検証の方法

- 1 資源再建計画の達成状況の検証は、資源再建計画の策定から 2 年ごとに資源評価に基づき行うこととし、水産庁は、その結果を、資源評価を行う研究機関、関係漁業者等が参加する会議（するめいかに係る本則第 8 の 1 の資源管理の方針に関する検討会又は T A C 設定に関する意見交換会（漁獲可能量の設定に際し漁業者、加工流通業者等を対象に行う意見交換会をいう。））において説明し、参加者間で議論を行う。
- 2 検証の結果、必要と認められる場合には、1 の検討会における議論も踏まえ、資源再建計画の見直しその他必要な措置を講ずることとする。

第 6 その他

- 1 資源再建計画の期間が満了する前に、するめいか秋季発生系群及びするめいか冬季発生系群の資源水準の値が目標管理基準値を 2 管理年度連続して上回っていることが判明した場合には、判明した管理年

度の末日をもってこの資源再建計画は終了する。

- 2 農林水産大臣は、資源再建計画の期間が満了する前に、するめいか秋季発生系群又はするめいか冬季発生系群のいずれかの資源水準の値が、目標管理基準値を2管理年度連続して上回っていることが判明した場合には、判明した管理年度の末日をもって、当該系群を資源再建計画の対象から削除するために必要な変更を行う。
- 3 農林水産大臣は、検証の時期にかかわらず、親魚量が別紙2-12の第3の4に定める禁漁水準値を下回っていることが判明した場合には、別紙2-12の規定に基づき、必要な措置を講ずることとする。